

平成27年度外務省高校講座



本校の教育目標のESD3本の柱である「福祉・国際・環境教育」を充実させるため、今回は「国際教育」に関して、外務省高校講座を9月16日(水)に本校体育館にて行いました。

後藤 孝 外務省国際情報統括官第一国際情報官室上席専門官をお迎えして、「未来の世界を考えてみよう」の演題で、全校生徒を対象に1時間余りのご講演をいただきました。

気候・宇宙・サイバー空間など個々の事例についてはそれぞれが無関係のように感じられることも国と国との利害関係があるので、各国の代表が話し合っ
て大きな枠組みを作り、世界を正しい方向に進めていかないといけないということを力説されました。

現在の日本の置かれている立場を踏まえ、これから日本がどうあるべきか、高校生はどう行動すべきかなど示唆に富むお話をいただきました。

その後、生徒会の諸君がお手伝いして国名クイズを行いました。「世界が池田高校全校生徒464名だったら」と仮定し、実際にその国の人口分の生徒が起立したり、挙手でGDPや国防費を表したりして、実在するどの国を指しているのか考えました。視覚的に確認できることで、それぞれの国の違いが分かりやすく、活発な発言が多くありました。生徒も日々ニュースで流される様々な国の問題について関心を持つきっかけとなりました。

また、ご講演ののち約40分間でしたが、座談会を開催していただき、生徒代表の質問に誠実にお答えいただきました。参加した生徒諸君も非常に有意義な時間を過ごすことができたとの感想を多く寄せてきました。

今回の講演は、生徒にとっては、海外の情勢や日本の立場を学べる貴重な時間となったことだけでなく、講演者の生き様を聴き、自分の進路に対し考えるキャリア教育の面でも効果があると感じられました。

以下生徒の皆さんの感想(抜粋)

- ・私は、この講演を聴いて前よりも世界や私たち日本のことを知ることができたと思いました。
- ・いつも携帯やNHKのニュースで聴いていたことだったけど、実際に話を聴いて海外にとっても興味がわきました。
- ・社会に出ると、たくさん問題があると思うけれど、世界のことを知ることは大切だし、役立つことなんだと思いました。

